

消費生活講座

「近助の精神」で安心・安全まちづくり

日時： 3月17日（火） 午後2時30分～4時30分

会場： 多摩市立永山公民館5階 多目的ホール（ベルブホール）

プログラム

- 2:30 開会
消費者団体等連絡会会長 挨拶 — 久保田真須子
- 2:40 講演
「近助の精神」で安心・安全まちづくり
— 山村武彦氏
- 4:10 質疑応答
- 4:30 閉会

主催・問合せ先：

多摩市消費生活センター

☎042-337-6610

多摩市消費者団体等連絡会 リンク&ショップ はらっぱ

☎042-337-6785

「近助の精神」で安心・安全まちづくり



2014年長野県神城断層地震（白馬村）／撮影：山村武彦

講師：山村武彦

講師の主なプロフィール



学生時代に遭遇した新潟地震（1964）でのボランティア活動を契機に防災アドバイザーを志す。地震、津波、噴火、土砂災害、テロ、事故など250か所以上の災害現地調査実施。阪神・淡路大震災時は、2時間後に現地入りし救助・調査活動にあたる。企業・行政等の危機管理アドバイス、講演、執筆等を通じ実践的防災・危機管理の普及と防災意識啓発に活躍中。

★受賞歴：文部科学技術庁長官賞受賞

★提唱・推進：「近助の精神」「防災隣組」

★所属学会：日本災害情報学会、地域安全学会

★現職：防災システム研究所所長

★主な現地調査実績

★2014 長野県神城断層地震★2014 御嶽山噴火災害★2014 広島土砂災害★2013 フィリピン台風災害★2013 大島土砂災害★2013 オクラホマ竜巻災害★2013 浜松市地すべり★2012 宇治市豪雨災害★2012 九州北部豪雨災害★2012 茨城・栃木竜巻災害★2011 東日本大震災★2011 N Z 地震★2011 新燃岳噴火★2010 奄美豪雨災害★2010 チリ地震★2009 スマトラ沖地震★2009 兵庫県佐用町水害★2009 防府市豪雨災害★2009 群馬県館林竜巻災害★2009 豪州大規模森林火災★2008 岩手・宮城内陸地震★2008 中国・四川大地震★2007 中越沖地震★2007 能登半島地震★2007 ペルー北部地震★2005 パキスタン北部地震★2005 JR 福知山線脱線事故★2004 スマトラ沖地震津波★2004 中越地震★2004 イラン地震★2001 米国同時テロ事件★2001 歌舞伎町ビル火災★2000 東海豪雨★2000 鳥取県西部地震★1999 台湾集集地震★1995 阪神・淡路大震災★1995 地下鉄サリン事件★1994 北海道東方沖地震★1994 ロサンゼルス地震★1993 インド西部地震★1993 北海道南西沖地震★1989 サンフランシスコ地震★1986 三原山噴火災害★1982 長崎水害★1982 ホテルニュージャパン火災★1980 川治プリンスホテル火災★1973 大洋デパート火災★1968 十勝沖地震★1964 新潟地震等

★主な役職（歴任含む）

★消防庁防災訓練活性化研究会委員★研究開発型企業連絡会議議長★災害時要援護者避難支援研究会委員★防災対策評価委員会幹事★東京都・防災隣組審査委員など

★主な著書

★近助の精神・近くの人が近くの人を助ける防災隣組★防災・危機管理の再点検 - 進化するBCP（きんざい）、★目からウロコの防災新常識（ぎょうせい）★企業防災・危機管理マニュアルの作り方（きんざい）★人は皆自分だけは死なないと思っている（宝島社）

★主なメディア出演

★NHK「ニュースウォッチ9」★TBS「朝チャン」「ひるおび」★日本テレビ「ミヤネ屋」★フジTV「新報道2001」「スーパーニュース」「ニュースJAPAN」★テレビ朝日「報道ステーション」★BBC テレビ★CNN テレビ★ル・モンド★ニューヨークタイムス等

1、最近の災害にみる地域連携

- (1) 広島市土砂災害／夜中の3時に電話をかけた人
- (2) 長野県北部地震／自助、近助、共助が生んだ「白馬の奇跡」

2、東日本大震災の教訓とバイアス（心理的偏向、思い込み、先入観）

- (1) 凍りつき症候群／突発発災時、心と身体が固まってしまう心理的傾向
- (2) 正常性バイアス／先入観などで、異常も正常と誤認する心理的傾向
- (3) 経験の逆機能／過去事例や経験にとらわれ対応を誤る心理的傾向
- (4) 集団同調性バイアス／集団の動きを探り、同調しようとする心理的傾向
- (5) エキスパートエラー／プロが犯すミスやプロを過信する心理的傾向

3、離れた海底地震でも、内陸部で甚大被害となる場合もある

4、地震ごとに異なる揺れ方（応答スペクトル）と被害

5、阪神・淡路大震災発生！2時間後に見たもの

6、巨大地震発生！その時、どうなる、どうする

- (1) 怖いのは津波だけではない「震度6強の揺れ」から生き残るマニュアル
- (2) 耐震診断、耐震補強、転倒落下防止対策「安全な場所に住む（する）」
- (3) 小さな揺れ、緊急地震速報で「防災訓練開始！」
- (4) 安全ゾーンとは＝転倒・落下物の少ない、閉じ込められない場所
- (5) 消火訓練や救助訓練の前に火を出さない訓練、閉じ込められない訓練

7、「近助の精神」で安心・安全まちづくり

- (1) 「防災数値目標」を掲げなければ、具体的な対策は生まれない
 - ① 死者ゼロを目指す ② 大火ゼロを目指す ③ 逃げ遅れゼロを目指す
- (2) 逃げる訓練だけでなく、安全が確保できた元気な人は闘う防災訓練も
- (3) 「近助の精神と防災隣組で支え合い」先進事例
 - ① 防災隣組の組分けルール事例
 - ② 自治会加入率を上げる「互近助カード」
 - ③ 訓練事例（防災運動会、防災ピクニック、防災芋煮会）

8、東日本大震災のちょっといい話

- (1) 忘れてはいけない、世界中から寄せられた善意
- (2) 元気な人は「助けられる人から助ける人へ」

★近助の精神と防災隣組

人はひとりでは生きていけません。それぞれの存在によって社会が成り立っています。だからこそ「自分でできることは自分で対応」が基本です。しかし、身体が不自由であれば自分でできることに限りがあります。誰でも病気になるときがあります。誰でもいつかは年を取ります。でも、病人、高齢者、障がい者になりたくてなった人は一人もいません。可能な限り自分のことは自分でした上で、それでも対応できないときは隣人や行政に助けを求めていいのです。

ひとりで悩まないで、困った時は近くの人に相談してください。隣人同士どこかで迷惑をかけ合い、助け合いながら生きているのです。それがお互い様です。自治会や自主防災組織内に向こう三軒両隣の防災隣組をつくってください。普段から「ほどよい距離感」で、回覧板はポストに入れるのではなく、手渡しで「回覧板ですよ」と普段から声掛け合える関係づくりが大切。同じ時代同じ地域に住む隣人に興味を持ち、困っているかな、変だなと思ったら、いつでも近くにいる人が声を掛け、助け合い、傍観者にならない心、それが「近助の精神」です。

山村武彦

★いのちの笛（普及運動本部 FAX：0467-87-0618／電話：0467-87-4012）



命の笛はストームホイッスルと呼ばれ、群衆、騒音、爆発音などの中でも人が一番聞きとりやすいと言われる周波数3150ヘルツに合わせて調律されています。また、どんな気候、天候でも同じように機能が発揮できるようになっているのが特徴です。（水に浸けても音が出ます）

重さ：20g（ホイッスルのみ）・音量：118～120デシベル・聞こえる範囲：陸上800m、水中15m

★助けを求めるかすかな声に、耳を澄ませる人がいる社会

命の笛は外出するときはペンダントとして防犯にも役に立ちます。もし、街でオレンジ色の「命の笛」ペンダントを下げた人を見かけたら「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてあげてください。同じ時代を共に生きる仲間として、助け合いいたわり合い、支え合いましょ

う。そして、助けを求めるかすかな声に耳を澄ませ、近くの人がさりげなく声を掛け、助け合う。そんな社会であって欲しいと願っています。

山村 武彦先生の著書のご案内

近助の精神 —近くの人が近くの人を助ける防災隣組

最新刊



テレビでおなじみの第一人者が古くて新しい「減災概念」を提言!

◆自然災害と社会災害を克服するためのキーワードは「人」であり、人と人、人と地域、人と社会のほどけた結び目を結び直す、最小共同体「防災隣組」を提言。◆欧米の近隣自治組織や、隣保組織としての日本の「隣組」の歴史を徹底検証。◆防災力の向上を目的とした企業間連携や、事業所と町会が連携した取組み等、先進的な事例を数多く紹介。◆企業の安全委員や危機管理担当者、自治会組織、地方公共団体や金融機関の災害対策担当者など必読の書!

四六判・並製・236頁・定価(本体1,300円+税)

主要目次

序章 ほどけた結び目
第1章 自助、近助、共助
第2章 防災隣組の先進事例
第3章 自然災害と想定外

第4章 隣保組織 [隣組] の歴史
第5章 東日本大震災と日本人の礼節
第6章 欧米の近隣自治組織

防災・危機管理の再点検 —進化するBCP(事業継続計画)



東日本大震災を教訓に、BCPを徹底検証!

◆組織のバックアップ態勢、リカバリ態勢は万全か。◆潜在リスク、複合リスク、定説リスク、社会的タブーから目をそむけず、東日本大震災を多角的に検証。◆広域大津波、広域災害、原発事故、風評被害、モノ不足等が同時に発生した、人類初の「広域複合大災害」の経験をひまえ、第一人者がBCPを徹底検証する。◆近い将来必ず来たる「想定外」の災害へ備えよ! ◆企業・公共団体の防災担当者、必読の書!

四六判・並製・292頁・定価(本体1,800円+税)

主要目次

序章 「3.11」で日本人と日本が変わった
第1章 防災・危機管理の再点検およびBCP見直しの留意点
第2章 企業における防災・危機管理の再点検

第3章 行政における防災・危機管理の再点検
第4章 進化するBCP

本当に使える

企業防災・危機管理マニュアルの 作り方—被災現場からみつめたBCP



天災・人災に負けない、強い会社をつくる!

◆災害現場からみた本当に使えるマニュアルを専門家がわかりやすく解説。
◆実際の防災危機管理マニュアルを例に逐条解説方式で丁寧に解説。
◆災害時の事業継続に不可欠な、内部の「非常参集計画表」から取引先や地域との「防災協力協定」まで、参考になる文例を多数掲載。
◆あらゆる災害から従業員を守り、早期復旧と地域貢献を実現するためのノウハウを凝縮。

四六判・並製・240頁・定価(本体1,800円+税)

主要目次

序章 企業のBCP・防災・危機管理マニュアルの作り方
第1章 事例に学ぶ「安全の死角」
第2章 マニュアル成功事例
第3章 事業継続管理BCM (Business Continuity Management)

第4章 防災・危機管理マニュアル策定準備
第5章 防災・危機管理マニュアルの策定例とその解説
実務編 事前対策およびリスク事象別応急対応Q&A

平成27年3月

山村武彦先生セミナーご受講の皆様

制作：一般社団法人 金融財政事情研究会
販売：株式会社 きんざい

『近助の精神 近くの人が近くの人を助ける防災隣組』

刊行のご案内

この度弊会では、標記新刊図書を刊行いたしましたので、特別価格にてご案内申し上げます。
東日本大震災によって、既存の防災・危機管理態勢の不備や限界が明らかになりました。
また、わが国では孤独死などの社会災害も深刻な状況といえます。本書では自然災害と社会災害を克服するための古くて新しい「減災概念」を提言しており、今後の防災・危機管理態勢の構築に資する内容です。
つきましては、好評の既刊2冊も含めました裏面書籍案内をご覧のうえ、是非ご購入賜り、業務にご活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社 きんざい 業務企画部 行 (FAX: 03-3358-2069)
★FAX 到着確認用連絡先 TEL: 03-3358-0052

1404110002

書籍申込書

申込日 年 月 日

◆申込冊数をご記入ください。(価格は消費税8%込・送料出版社負担)

書籍名	コード	定価	特別価格	申込冊数
近助の精神 近くの人が近くの人を助ける防災隣組 (2012.9刊)	12143	1,404 円	1,260 円	冊
防災・危機管理の再点検 進化するBCP (事業継続計画) (2012.1刊)	11962	1,944 円	1,740 円	冊
本当に使える 企業防災・危機管理マニュアルのつくり方 (2006.7刊) 被災現場からみつめたBCP	10931	1,944 円	1,740 円	冊

◆ご送付先

会社名	フリガナ		
部課名	フリガナ		
ご送付先住所	〒		
氏名	フリガナ (法人申込の場合はご担当者名)		
電話番号	()	FAX 番号	()

(14.04)

- *商品は請求書を同封のうえ、ご送付先へお届けします。
- *本申込書をご利用の場合のみ特別価格を適用させていただきます。書店では特別価格は適用されませんのでご注意ください。
- *お申込後のお問合せは下記へお願い致します。

〈株式会社 きんざい カスタマー・サービス・センター TEL: 03-3358-2891〉

・本申込書により取得しました個人情報については次の目的で利用いたします。
当該書籍の受付・発送・管理および関連する当社および提携団体の事業・サービス等の情報提供ならびに市場調査、当社の事業・サービスの開発

・本申込書により取得しました個人情報については、個人情報保護法に定める場合を除いて、ご本人様の同意なく、利用目的外の利用および第三者提供はいたしません。